

# 株式会社 ATR-Incubator

～ATR研究成果を活用した事業の創出を加速する支援機能を提供～

## 概要

研究成果をもとにベンチャー型事業を立ち上げていくには、事業化準備段階から起業家や投資家、潜在顧客などに製品やサービスのプロトタイプを実際に見てもらい、事業性を評価・フィードバックしてもらうことが必須です。ATR-Incubatorは、ATR研究成果に基づくプロトタイプ開発やコンセプト実証、更にはビジネスモデル／プラン作成など事業化準備段階の活動を支援しています。

## 特徴

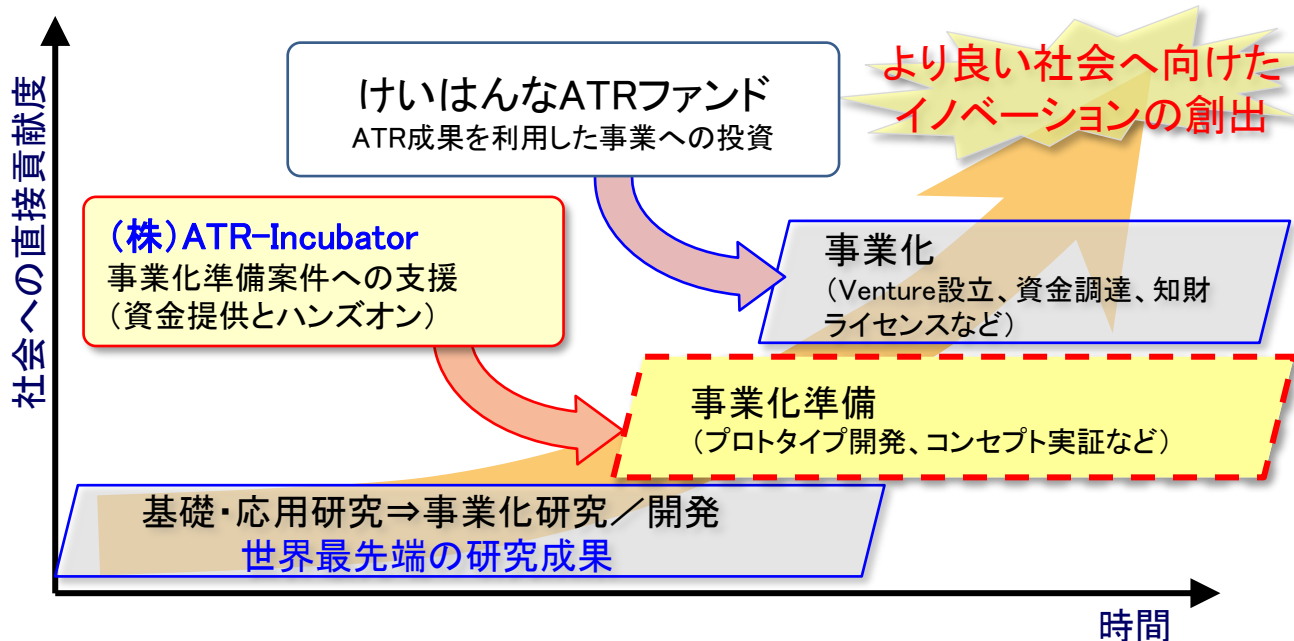
- けいはんなATRファンド出資第3号(2016年4月～)
- ATRの事業開発室／研究所／グループ会社と連携
- 市場性が見込まれる研究シーズと事業化意欲を持つATR研究者に対し、プロトタイプ開発、コンセプト実証など事業化準備段階で必要なリソース、活動機会を提供
- ATR-Incubatorがハブとなることで、ATR外の投資家、ベンチャー経営者・推進メンバ候補、潜在顧客の事業化準備段階からの参画が容易に
- 2020年10月現在、採択案件7件

## 今後の展開

- これまで実施したプロジェクトの事業化に向けた活動をモニターするとともに、必要に応じてサポートしていきます。また、引き続き新たな有望プロジェクトを発掘していきます。

## 対コロナへの関連

- コロナ禍により、テレワーク、遠隔授業、ネット会議の普及など、社会生活全体にわたってサイバー空間へのシフトが始まりました。そのような社会全体の動きも踏まえ、有望なATRシーズの発掘に取り組んでいきます。



## ATR-Incubatorによる事業化支援の位置づけ

# 株式会社 ATR-Incubator

～これまで取り組んだプロジェクト～

## 概要

ATR-Incubatorは、ATRの社内施策A-VIP(ATR Venture Incubation Program)と連携してATR内の事業化シーズを発掘し、プロトタイプ開発やコンセプト実証のサポートをしてきました。これまで7件のプロジェクトを推進し、その後、起業や製品化につながった事例も出てきました。

No	プロジェクト名	開始日	終了日	ATR内プロジェクト実施者 ／協力企業	実施後の状況
1	自律型屋内位置測位技術 “Smart Finder”の事業化	2016年 5月	2016年 10月	適応コミュニケーション研究所 ／関西大学 滝沢教授	(株)Phindex Technologies起業
2	英語カラオケ技術の事業化	2016年 7月	2016年 12月	事業開発室	事業化検討中
3	災害時用コグニティブ無線通信機の 試作・市場調査	2017年 3月	2017年 8月	適応コミュニケーション研究所 ／株式会社シンクチューブ	社会実装実績
4	脳を介した感性評価にもとづく商品 開発支援サービスの事業化	2017年 6月	2017年 11月	脳情報研究所 ／株式会社構造計画研究所	事業化検討休止
5	ドローン用周波数三次元品質推定 技術の試作	2017年 10月	2018年 3月	適応コミュニケーション研究所	事業化検討休止
6	電波計測技術の事業化	2019年 8月	2020年 1月	波動工学研究所	事業化見込み
7	ネットワークロボット技術の事業化	2020年 2月	2020年 3月	インタラクション技術バンク	事業化検討中



連絡先: ATR事業開発室 担当 坂野 寿和 E-Mail:bdo-staff@atr.jp